記載例１：見積りを３社から徴することができない場合

申立書

●年●月●日付けの人事異動に伴う住所の移転において、複数の引越業者に見積りを依頼しましたが、下記のとおり業者から「見積りができない」と連絡があり、１社（又は２社）からしか見積りを徴することができませんでした。

記

１　（引越業者Ａ）

(１)　見積依頼日

令和　年　月　日（●）

(２)　聞き取りの相手方

（担当者名）

(３)　見積りができない理由

【例１】引越日として指定した日時は予約が埋まっていて受注できないため。

【例２】当該業者のサービスが行き届いていない地域であるため。

２　（引越業者Ｂ）

(１)　見積依頼日

令和　年　月　日（●）

(２)　聞き取りの相手方

（担当者名）

(３)　見積りができない理由

令和　年　月　日

所属

氏名　　　　　　　　　印

記載例２：対象外経費が含まれていないことが確認できない見積書であった場合

申立書

●年●月●日付けの人事異動に伴う住所の移転に際して（引越業者名）から徴した見積書は、下記の対象外経費の内容及び金額の記載がなかったため、当該業者に確認しました。

つきましては、対象外経費の内容及び金額を下記のとおり申し立てます。

記

１　聞き取りを行った日

令和　年　月　日（●）

２　聞き取りの相手方

（引越業者名）　（担当者名）

３　対象外経費の内容及び金額

●●●を運搬等する際の追加費用（●●●円）

※対象外経費が複数ある場合は、それぞれの内容と金額を記載してください。

令和　年　月　日

所属

氏名　　　　　　　　　印

記載例３：既に異動の内示が行われて引越業者を決定している場合

申立書

令和２年４月１日付けの人事異動に伴う住所の移転において、同年●月●日に異動の内示があり、●月●日に（引越業者Ａ）及び（引越業者Ｂ）から見積りを徴した結果、安価な見積額を提示した（引越業者Ｂ）に決定しました。

３月●日に（引越業者Ｃ）にも見積りを依頼した結果、当初決定していた（引越業者Ｂ）よりも安価な見積額を提示されましたが、（引越業者Ｂ）への予約をキャンセルすることによるキャンセル料が下記のとおり発生し、下記２の合計額が下記１の金額を上回るため、（引越業者Ｂ）を利用しました。

記

１　（引越業者Ｂ）の見積額

●●●円

２　（引越業者Ｃ）の見積額及び（引越業者Ｂ）のキャンセル料

合計●●●円

（内訳）見積額：●●●円、キャンセル料：●●●円

３　キャンセル料の確認

(１)　キャンセル料について聞き取りを行った日

令和　年　月　日（●）

(２)　聞き取りの相手方

（担当者名）

令和　年　月　日

所属

氏名　　　　　　　　　印